

東日本大震災の被災地への支援について

関 生活安全課内 2281

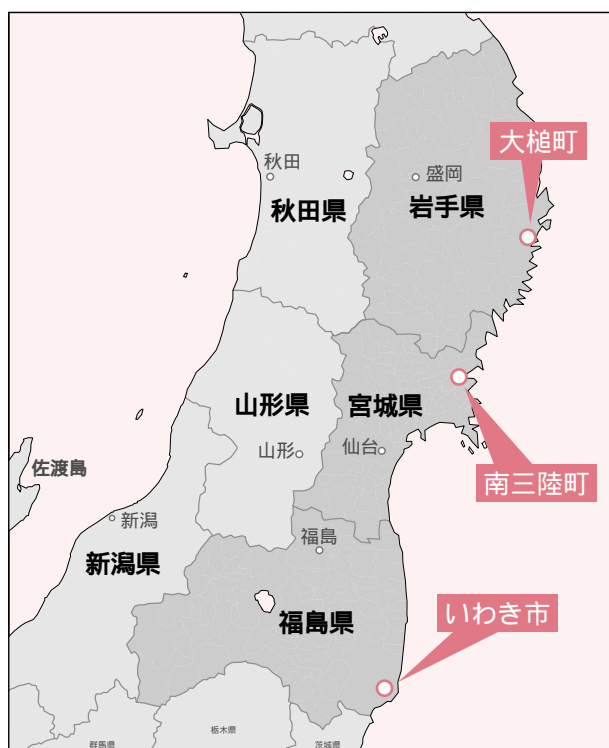
岩手県大槌町・宮城県南三陸町に支援物資を搬送、福島県いわき市に職員を派遣

7月7日(木)に野川町長および町職員7名が岩手県大槌町に、また、7月12日(火)には今成副町長ほか町職員7名が宮城県南三陸町へそれぞれ支援物資を搬送しました。
現地で不足している物資などを事前に確認したうえで

届けし、両町のみなさんには大変喜んでいただきました。

この支援は、埼玉県市町村長会議での提案に基づき、埼玉県内の市町村が分担して被災地の市町村と直接連絡を取り合い、支援をしていくものです。

また、埼玉県からの職員派遣依頼に基づき、福島県いわき市に7月19日から8月31日まで税の減免事務を行うため、職員延べ3名を派遣しています。



7月7日 岩手県大槌町



野川町長と中村町民課長

● 岩手県大槌町
面積 200・59 km²
人口 15,239人
(3月1日)

大槌町は3月11日の地震で災害対策本部参集の時に津波に襲われ、町長以下課長級職員の多くが亡くなられました。8月28日には、町長・町議会議員選挙が行われます。

被害状況(7月7日現在)
死者 786人
行方不明者 827人
家屋倒壊 3,677棟



主な支援物資
スपोर्टドリンク
殺虫剤
2サイクル用エンジンオイル
ハエ取り紙
自転車用鍵
ポリ袋 など

7月12日 宮城県南三陸町



今成副町長と遠藤副町長(右から2人め)

● 宮城県南三陸町
面積 163・74 km²
人口 17,382人
(3月1日)

南三陸町は3月11日の地震で震度6弱を記録し、大津波は町内3つの川を逆流し内陸深くまで大きな被害をもたらしました。町庁舎や消防署などほとんどの公共施設が全壊しました。

被害状況(7月7日現在)
死者 542人
行方不明者 564人
家屋倒壊 3,311棟



主な支援物資
飲料水
シャンプー・リンス
食器用洗剤
衣類用洗剤
衣類用漂白剤 など

ストップ・ザ・温暖化！

～ 私たちにできること～

問 環境対策課 内 2252

町では、平成21年度に「いなまち地球温暖化防止実行計画」の見直しを行い、伊奈町役場（本庁舎および出先機関）において排出される温室効果ガスを、平成14年度を基準として平成26年度までに6%削減することを目標に掲げています。（表1参照）

温室効果ガスって何？

大気圏にあつて、地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより温室効果をもたらす気体の総称をいいます。主に二酸化炭素、メタン、

活動区分別排出状況

表2を見ると、廃棄物焼却の占める割合が54・58%と最も多くなっています。廃棄物を焼却すると、熱量が膨大化し、地球温暖化の原因となる温室効果ガスが多量に発生してしまします。

しかし、このごみは、みなさんの行動を少し変えることで減らすことができます。

家庭から出るごみは、何かを買ったり、もらったりすることからスタートしています。ごみになったあとでごみの処分を考えるのではなく、買い物をする時点でどれだけごみが減らせるか、ごみになったあとのことまで考えて買う物を選ぶかどうか、ごみの減量化の大きな分岐点です。必要なものだけを購入し、ものを大切に（無駄なく）使う。

食材などは必要な量だけ買い、食べ残しをしない。使い捨て商品はできるだけ買わない。日ごろからごみの減量化に向けた取り組みをお願いします。

町の現状は？

表3は役場庁舎等から排出される温室効果ガス排出量です。町でも、さらなる冷暖房温度の適正管理、昼休み時の節電等の取組みに努めています。

従六位旭日双光章を受章

故 鳥井 文典氏（南本）



鳥井氏は、昭和62年5月から伊奈町議会議員として、連続6期24年の長きにわたり地方自治の振興発展に尽力されました。このたびの受章は、その顕著な功績が認められたものです。

危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章を受章

消防功勞（順不同）



山田 武氏
（小貝戸）



坂上 多門氏
（栄中央）

坂上氏と山田氏は、ともに長年にわたり東京消防庁職員として消防活動に尽力されました。今回の受賞は、その功績が認められたものです。

表2 活動区分別排出割合

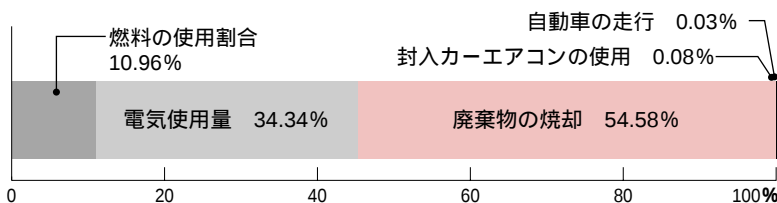


表3 役場庁舎・各施設から排出された温室効果ガスの量 単位：kg-CO₂

調査項目	排出される温室効果ガス	基準年度 平成14年度	平成22年度	基準年度比
電気使用量	CO ₂	1,358,393	1,524,819	12.25%
燃料使用量	ガソリン	64,045	62,232	-2.83%
	灯油	86,087	60,933	-29.22%
	軽油	20,486	16,451	-19.70%
	A重油	407,603	409,105	0.37%
	LPG	37,761	45,525	20.56%
公用車の走行量	CH ₄ N ₂ O	1,958	1,909	-2.54%
カーエアコンの使用	HFC	5,278	5,733	8.62%
温室効果ガス排出量 (CO ₂ 換算)		1,981,612	2,126,706	7.32%

表1 平成22年度温室効果ガス排出状況(町全体)

	温室効果ガス排出量 (kg-CO ₂)	基準年に対して の削減割合
基準値(平成14年度)	6,076,768	
平成22年度実績	6,791,514	11.76%
目標(平成26年度)	5,712,162	-6.00%

二酸化炭素への排出係数が変更されたため、基準年度の数値が前回と異なります。